

レスキューロボットコンテスト2026



実行委員長 二井見 博文





レスキューロボットコンテストの理念



技術を学び 人と語らい 災害に強い世の中をつくる



レスコンのフィロソフィー(哲学、考え方)



現実のレスキュー活動

レスコン

基本姿勢

- 1) 他のチームとの相対的な勝敗が第一ではない
- 2) 多様な災害状況を考える
- 3) 現実のレスキュー現場を想定し柔軟に対応する

「やさしさ」の具現化

原則：「レスコンの背後には、常に現実のレスキュー活動が控えている」

コアコンセプト：やさしさ



レスコンのコアコンセプト



やさしさ

- 優しさ／思いやり／配慮／親切さ:
Consideration, Kindness, Tenderness
救助／救出方法における要求者へのやさしさ
- 易しさ／配慮:
Consideration, Simplicity, Robustness, Toughness
ロボットの機構／構造, 耐故障／メンテナンス性などのやさしさ
- 配慮／易しさ:
Consideration, Easiness, Simplicity
ロボットを遠隔操作する際のやさしさ
- 平易さ／明解:
Clarity, Simplicity
観客への説明のやさしさ



レスキューロボットコンテストとは



大規模都市災害における救命救助活動を題材とした ロボットコンテスト

1995年阪神・淡路大震災を契機に開催



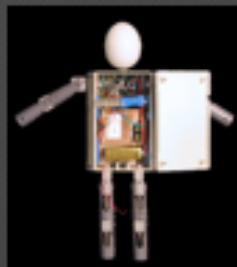
第1回レスキューロボットコンテスト



1995年 阪神・淡路大震災 1.17

2001年 第1回レスキューロボットコンテスト

2000年
プレ大会





震災から30年 レスコンを始めて25年



1995年 阪神・淡路大震災 1.17

2000年
プレ大会

2001年 第1回レスキューロボットコンテ

スト 2002年 2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年
2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年
2021年 2022年 2023年 2024年

2025年 レスコン2025

競技会予選

会期：2025年6月29日(日)

会場：咲州モリーナ

競技会本選

会期：2025年8月9日(土)～10日(日)

会場：神戸サンボーホール



次の25年を目指して



1995年 阪神・淡路大震災 1.17

2000年
プレ大会

2001年 第1回レスキューロボットコンテ

スト 2002年 2003年 2004年 2005年 2006年 2007年 2008年 2009年 2010年
2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年
2021年 2022年 2023年 2024年 2025年



レスコン2026

主催：レスキューロボットコンテスト実行委員会、神戸市
事業運営：一般社団法人レスキューロボットコンテスト



レスコン2026競技会 参加資格



項目	詳細
チームメンバー	3名～7名
募集チーム数	28チーム(本選進出12チーム)
団体(チーム責任者)	教育機関：所属機関の教職員をチーム責任者とする。 有志団体：18歳以上の責任者を置くこと。
必須条件	① 競技会予選の動画を提出できること ② 本選進出時に現地での参加が可能であること ③ 著作権・肖像権について承諾できること※



レスコン2026



競技会予選

開催形式：動画審査

2026年6月16日(火)動画締切、
2026年6月30日(火) 公式ウェブサイトで結果

発表

競技会本選

会期：2026年8月8日(土)～8月9日(日)

会場：しあわせの村 体育館（神戸市北区しあわせの村1-1）



本選への進出枠



本選進出枠	チーム数	詳細
主催者枠(書類審査)	0~2	主催者が最大2チームを選出
実技動画審査枠 (主催者枠チームを除く)	7~8	2つの課題フィールドでの活動動画を提出。動画よりポイントを算出し、上位チームを実技動画審査枠として本選進出とする。
アイデア動画審査枠 (主催者枠チームを除く)	3~4	実技動画審査枠に入らなかった上位8チームのうち、創造的発想・機能有効性・実現可能性に基づいて評価し、上位チームをアイデア枠として本選進出とする。



本選競技内容

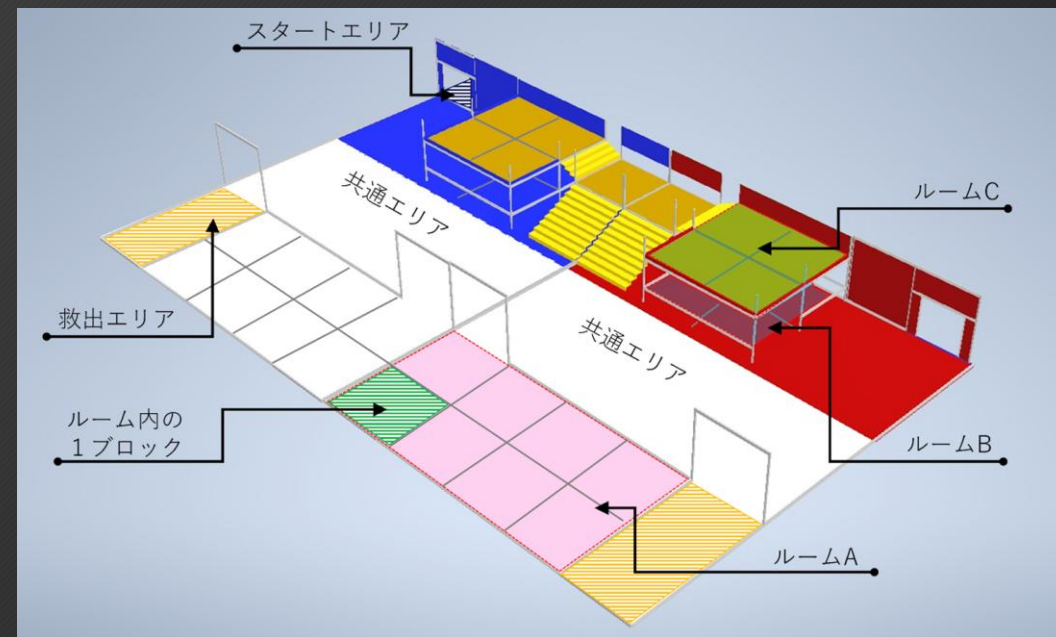


(要救助者人形)

遠隔操縦ロボットでダミヤンを救出



(センサー内蔵)





ストーリー



・ 国際レスキュー工学研究所（架空）の実験施設と想定

・ 1/4スケールの実験フィールド（半倒壊ビル/施設を模擬

実験フィールドにて救助活動

- 災害状況
- 状況 1) 建物内に取り残された人が数名いるとの情報が
 - 状況 2) 行方不明者の検索対象は3部屋
 - 状況 3) 二次災害のおそれがあり（人間が立ち入ることができない
 - 状況 4) 大規模停電が発生



レスキューロボット隊の出動要請！





競技シナリオ（想定する被災状況）



地震により大規模停電が発生：ビルや施設の建物が被災（病院／高齢者施設／オフィスビル／工場など）

取り残された従業員や作業員ら数名の捜索および救助依頼 停電が復旧するまでの時間内に...

- 二次災害の危険がある半倒壊建屋内の被災状況調査
- 通電・復電火災防止、ガス漏れによる爆発防止対策
- 要救助者の早期発見（捜索、容体確認）および救助



救出された要救助者は、ヘリコプターなどにより病院に搬送



競技ミッション



・作業ミッション

レスキュー活動に関連したミッションです。「障害物撤去」、「ブレーキ対応」のタスクが存在します。



・調査報告ミッション

フィールドの状態を確認し、報告するミッションです。「現場到着」、「被災状況報告」のタスクが存在します。



・救出ミッション

フィールドに存在するレスキューダミーを救出するミッションです。「支援物資提供」、「容体判定」、「救出」、

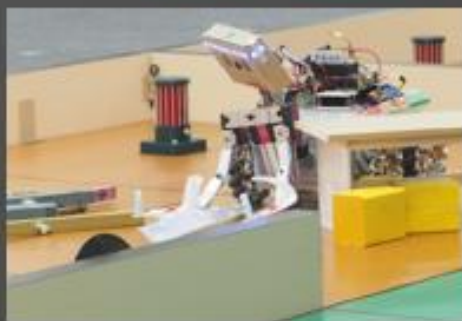
「搬送」のタスクが存在します。なお、被災状況報告タスクにおいてレスキューダミーの存在無し報告

建物内のダミヤンを検索発見後、

る状態では救出ミッションは発生しません。

救出し安全な場所に搬送

ロボットに必要な機能 (台数最大8台)



・ 情報収集・通信機能

遠隔操縦を行います。目視はできません。**カメラ**が必要です。無線or有線で通信を行います。

自律移動ロボットでも良いです。センサを取り付け情報収集に努めてください。

・ 移動機能

ルームA：平面を移動する機能やがれきを乗り越える機能が必要です。

ルームB：天井があります。高さの制約をクリアする必要があります。

ルームC：**階段**があります。2階へ直接アプローチも可能です。

・ ハンドリング機能

救援物資の提供
がれきの撤去

ダミヤンをやさしく救助する機能が必要です。

ロボットの台数制限：最大8台 (ロボット検査が可能な台数に
制限)



貸与機器関連



貸与機器制度

書類審査で選考された機器貸与チームにレスコンボードを貸与する

内訳： **TPIP for RP 2組** ， PWM増設基板



測域センサ
URG



貸与ダミヤ
ン

寸法確認テープ(消耗品・返却不要)



スケジュール



No.	項目	詳細
1	募集開始	2025年12月1日(月)
2	レスキューロボットフォーラム2025	2025年12月7日(日)
3	エントリー受付	2026年1月31日(土)24時 必着
4	書類審査結果通知	2026年2月16日(月)メールで通知 (詳細通知 3月2日(月))
5	レスコンボード講習会	2026年3月20日(金) (1週間前までに貸与機器発送)
6	競技会予選	2026年6月16日(火)24時 動画締切り 2026年6月30日(火)公式ウェブサイトで結果発表 「実技動画審査」と「アイデア動画審査」により、主催者枠を含め、本選に進出する12チームを選出。
7	競技会本選	2026年8月7日(金)午後 搬入 競技会本選 2026年8月8日(土)~8月9日(日) 会場：しあわせの村 体育館：神戸市北区しあわせの村1-1 1日目 ファーストステージ、チームミーティング(技術交流会) 2日目 セカンドステージ、ファイナルステージ、表彰式
8	貸与機器返却	2026年12月までに貸与機器を返却する必要がある。



主な変更点



項目	レスコン2025	レスコン2026
予選形式	現地開催(大阪市)+動画併用	動画審査のみ
予選動画内容	指定課題フィールドA・B	指定課題フィールドA・B アイデア動画
本選進出枠	主催者2 + 現地8 + 動画4	主催者0~2 + 実技7~8 + アイデア3~4
本選開催地	神戸市(神戸サンボホール)	神戸市 (しあわせの村体育館)
本選参加チーム数	14チーム	12チーム
本選競技数	ファーストステージ : 14 →ファイナル6、セカンド8 セカンドステージ : 8 →ファイナル2、競技終了6 ファイナルステージ : 8	ファーストステージ : 12 →ファイナル4、セカンド4、競技終了4 セカンドステージ : 4 →ファイナル2、競技終了2 ファイナルステージ : 6
プレゼンテーション	チームメンバーによる発表	あらかじめ提出された動画を再生



参加申込



締切：2026年1月31日(土)必着

提出物：参加申込書

提出方法：公式ウェブサイトに掲載の提出フォームに書類一式を提出。

- 同一人物の複数応募不可
応募者の重複がなければ、同一団体からの複数応募可
- 具体的に製作する機構や機能を書く
「ロボットの重要な機能」 必ず実現する内容
- レスキュー紹介用紙：
レスキュー戦略（ロボット関係方法等）やロボット以外の特徴を記入
- 貸与機器貸出希望欄
- TPIP以外の機器の使用有無



書類作成上のポイント：申込用紙の説明



- レスキューに対するチームの方針
 - ・ ポイントを獲得することのみが評価対象ではない
- ダミヤンへのやさしさ
 - ・ **やさしい救助の具現化**
 - ・ 一定でない体型や状態への対応
- テーマに対する対応
 - ・ 容体判定に対する工夫
- 特殊ガレキや支援物資提供方法への対応
 - ・ やさしさへの対応, 安全確保, 救出方法の工夫
- レスコンボードの利用方法
 - ・ センサの活用, 自動制御の導入

レスコンウェブページに過去の応募書類が公開されています

レスコン2026の応募申込書類は、6月に公開します



問い合わせ



競技参加に関する問い合わせや質問は、
電子メールで受け付ける。

office@rescue-robot-contest.org

ウェブサイトをよく確認してください。
また、SNSでも情報を発信中



レスコンは、数多くのチャレンジを待っている！



技術を学び 人と語らい 災害に強い世の中をつくる



次のプレゼン

- 競技規定詳細
- ダミヤン
- 貸与機器（レスコンボード）
- ロボット通信関係

